

きらり 大町病院

市立大町総合病院
OMACHI MUNICIPAL GENERAL HOSPITAL

2014. 3. 1

vol.4

<http://www.omachi-hospital.jp/>



第3回 病院祭 特別講演

特集 **脳外科医は“ミクロの決死圏”の夢を見る** —最終回—

市立大町総合病院 平成25年度の出来事

登録医紹介 狩谷整形外科医院

病院からのお知らせ・皆さまの声

外来診療表

ご自由にお持ちください。

表紙の写真：売店のオープニングセレモニー
(関連記事 6 ページ)

脳外科医は

ミクロの決死圏

の夢を見る

—最終回—

埼玉医科大学医学部脳神経外科学教室

藤巻 高光 教授



第3回病院祭で開催された埼玉医科大学医学部脳神経外科学教室の藤巻高光教授(大田市出身)の特別講演を3回に分けて掲載しています。今回は最終回です。

三叉神経痛

まずは三叉神経痛ですが、これは顔が痛い病気です。突然痛くなりえます。数秒から1分位の刺すような短い痛みです。歯磨き、化粧、髭剃りしても痛みが走ります。この世で最も痛い痛みの一つと言われてますし、患者さんによっては虫歯と間違えて、歯を抜いても痛みが治らないため、歯科医から紹介されることもあります。これは脳の中に原因があります。顔の感覚を脳に伝えている三叉神経に血管が接触しているため起こります。なぜかと言うと、例えばおでこを触ると「触った」という刺激が神経を通して脳に伝わり、脳が「触った」と認識します。ところが、三叉神経を血管が圧迫していると、痛みを伝える神経にも「触った」という情報が混線して流れてしまいます。触っただけでも「痛み」としても脳に伝わり痛く感じてしまいます。このような患者さんには、まずお薬を飲んでいただきます。いい薬が何種類もあり、薬を飲んで痛みが治まればこれで大丈夫です。痛い時だけ薬を飲んでいただければ何とかかなりマシです。

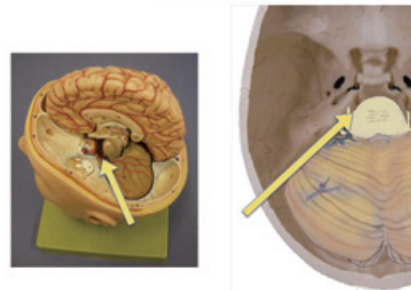
あとは、顔の神経に麻酔薬を入れます。麻酔を入れれば痛くありませんが、麻酔が切れれば当然痛みがでます。

ではどうするかということで、神経を殺す薬を注射で入れてしまいます。

これにより顔がしびれますが痛みは消えます。でも、そのうちこのしびれが嫌になってきます。電気で焼くこともあります。い

れも2年位でしびれがとれてきます。でも、しびれがとれてくる頃には痛みが出てきますので、どうしても一時しのぎです。ガンマナイフと言って放射線を当てる方法もあります。これもいい方法ですが、まだ歴史が浅いです。そこで手術があるのですが、耳の後ろから入っていき7〜8cm奥の脳の一番真ん中にいって神経に絡んだ血管をほぐすという結構厄介な手術です。

三叉神経痛の手術



顔のけいれん、びくびくと動く病気がありますが、これも同じような仕組みです。顔の神経に血管がこびり付いて起こります。治療法は、薬を飲んで、顔に注射するという方法があります。顔の注射は三叉神経痛よりは効きが良いですが、有効ではあります。しかし、有効ではありませんがどうして一時しのぎです。根治療法はや

顔面けいれん

顔面けいれんの治療

対症療法
内服
ブロック
ボツリヌス毒素治療

根治療法
神経血管減圧術
(microvascular decompression)



はり手術です。脳の深いところへ入っていき、神経に絡みついた血管をどかします。

パーキンソン病

次に震えの病気のお話をします。パーキンソン病ですね。結構多い病気で、人口10万人に対し80〜100人、大北地域では60人とかいらっしやるのではないのでしょうか。手足の震え、動きが鈍い、体がこわばる、バランスが取り難いといった症状です。大体の方が内服薬でかなり良くなります。ただ、一部の方は長く薬を飲んでいると、薬の効きが悪くなってきたり、手足の震えがなかなか止まらない、薬の副作用で体が勝手に動いてしまうというといった症状が出てくるようになってきます。こういう時に、私達の病院では定位脳手術というのをやっています。脳の深いところを0.1mm単位で、コンピュータで計測して細い電極を刺していきます。刺しながら脳の電気の働きを調べていって、仮電極を置いてそこを電気で刺激します。これで調子が良さそうということになれば、そこへ電極を置きます。電極からつないだコードは前胸部に心臓のペースメーカーみたいな埋め込んだ機械につながります。これによって症状がすごく良くなります。

ミクロの決死圏

痛くない治療、傷の小さい治療、低侵襲な治療、切らない治療へ

今は頭を開ける代わりにカテーテルで脳

の動脈瘤の内側からプラチナ製のコイルで詰めます。そうすると頭を切らずに治療ができるわけです。あるいは脳の深いところへ内視鏡で入っていくこともできます。手術も小さな傷から顕微鏡で入っていきますが、内視鏡を併用することでさらにもっと深くが見えるので、小さな傷からでも十分いろんなところが見えて手術できます。今は、場合によっては頭を切らなくても小さな穴を開けるだけで脳の中を治療することができるようになってきています。

さらに最近では切らずに焼く。特殊な放射線治療で小さくする、あるいは消してしまうことができる時代になってきています。痛くない診断、傷の小さな治療、そういうことを目指しています。

顕微鏡や手術が進歩しています。顕微鏡を助ける部分も進歩してきました。内視鏡とか、コンピュータでの計算も進歩しました。血管の中から脳に到達することもできずし、抗がん剤なども脳に到達しやすくなっています。切らない放射線などもあって「ミクロの決死圏の世界」が少しずつ近づいてきている、頭を切らなくても治る時代になればいいなと思っています。

検査も進歩しています。カテーテルの検査は血管から脳の中に入れていって、ようやく脳の動脈瘤が写りますが、今はMRIでカテーテルを入れなくても血管が写る時代になってきました。こちらの大町病院でも「脳のドック」をやっており、MRIを使うことで痛みもなく動脈のこぶが破ける前に見つ

けることができます。こういうものが進歩することによって患者さんの負担が減って大事にならずに治療ができるようになってきました。

まとめ

脳の病気の治療はより安全なものとなっています。さらに患者さんの負担が小さなものを僕たち脳外科医は目指しています。軽い外傷の後、しばらく経って手足に力が入らない、物忘れ、慢性硬膜下血腫かもしれません。慌てなくてもいいですが早めに治療すると良くなりますので、こういうことがあったら脳外科ではなくてもいいので、とにかく大町病院に来て、CTスキャンを撮って、診断していただいて、脳外科の施設に転送すればゆっくり間に合うので相談してみてください。くも膜下出血は怖い病気ですが、あらかじめ脳ドックなどで脳のこぶが見つければ、ひどいことがおこる前に対処ができます。脳腫瘍は手術だけでは治らない種類もあります。ですが、放射線や抗がん剤が進歩しています。ですから、脳腫瘍と診断されても手術で治る場合もありますし、そうでなくても何とかなると思います。

さらに皆さんの脳外科のイメージとはだいぶ違う病気だとは思いますが、顔が痛い、引きつる、手が震えるなど、薬でうまくいかない場合はぜひ脳外科に相談してください。全部ではないですけど何かできる場合があります。

平成25年度の出来事

新体制

これまででは、山田博美病院事業管理者が院長も兼任していましたが、管理者に専念され、4月より新しい院長に井上善博医師（泌尿器科）が就任し、新体制でのスタートとなりました。

歯科 口腔外科 標榜

4月より歯科口腔外科を新規標榜しました。外来は行わず、入院患者や手術前後の患者を対象に口腔ケアをしています。

第3回 病院祭 開催

「第3回病院祭」つなげよう地域と医療の輪〜温かい病院を目指して〜を開催し、約4,000人の地域の皆様にご来院いただきました。今年度は大町市出身の方々をお招きして、鉄拳さん、巨哲兵さんのステージライブ、特別講演では埼玉医科大学医学部脳神経外科学教授の藤巻高光先生にご講演をいただきました。



「第3回病院祭」つなげよう地域と医療の輪〜温かい病院を目指して〜を開催し、約4,000人の地域の皆様にご来院いただきました。今年度は大町市出身の方々をお招きして、鉄拳さん、巨哲兵さんのステージライブ、特別講演では埼玉医科大学医学部脳神経外科学教授の藤巻高光先生にご講演をいただきました。

総合 防災訓練 実施

想定のもと、指揮系統の確立と多数傷病者に対応するトリアージを中心に実施しました。



大北地域の災害拠点病院として、災害時にスムーズな医療救護活動を実施できるように総合防災訓練を実施しました。地震により大北地域に多大な被害が生じた想定のもと、指揮系統の確立と多数傷病者に対応するトリアージを中心に実施しました。

診療体制 の充実

また、信州大学医学部附属病院総合診療科の研修病院に指定され、平成26年2月から総合診療科特任教授による外来診療が始まり、当院の総合診療もさらに充実しました。新年度からは研修医の派遣を受け、入院患者の診療にもあたる予定です。

耐震改修

平成23年11月から進めてきた「耐震改修工事」ですが、間もなく終了となります。

平成20年度に耐震診断を実施し、大規模な改修が必要との診断が出ました。大北地域の災害拠点病院として、また、大北地域の第2次救急医療機関としての機能保持も必要であることから、当院では耐震改修を進めてきました。現在施工中の箇所が終われば全て終了となります。

イルミネーション 点灯

毎年恒例のイルミネーションが今年も点灯されました。これは、患者・家族の皆さん、病院職員に元氣と勇氣が湧くように願うイルミネーションで「大町病院を守る会」の皆様が毎年設置してくださいます。今年も癒しのプレゼントをいただきました。



健診センターからのお知らせ

平成26年度 1日ドックの予約を受付中です！

2月12日（水）より、1日ドックの予約受付を開始しました。お電話または直接、健診センターにてお申込みください。お使いの保険証によりそれぞれ助成があります。詳しくはお問い合わせください。
※「平成26年度プレミアム検診」を希望される方は、市役所市民課国保・年金係にお申込みください。
4月中旬以降に受診券（青色の用紙）が届きましたら、健診センターまで予約をお願いいたします。

■問い合わせ先 健診センター TEL 85-2234

健診センターは昨年の8月にリニューアルオープンしました。2日ドックの部屋にリクライニングチェアが完備され、検査の合間にはゆっくりと休んでいただけます。現在まで多くの方にご利用いただいているところですが、受診者の方からも「飛行機のファーストクラスのような椅子でゆっくり本を読むことができた」との声も寄せられています。

また、今年の4月から1日ドックの内容が新しくなります。これまで希望の多かったオプション項目を基本検査項目に追加し、さらに充実した1日ドックとなっています。

追加される検査は次のとおりです。

- **肺機能検査**…肺の病気やたばこの影響による肺の障害などが分かります。
- **眼底検査**……目の奥の細かな血管の様子を撮影します。全身の動脈硬化の状態が推測できます。
- **眼圧検査**……角膜に空気を当てて目の圧を測定します。緑内障などの目の病気の早期診断に役立ちます。
- **血液検査**……**血液型・感染症（肝炎ウイルス・梅毒）**の項目が増えます。
- **尿沈渣**……尿を顕微鏡で覗いて詳しく見る検査です。腎臓や尿路系の病気の診断に役立ちます。

以上の項目を追加した健診内容で料金は36,000円（税込）と他院に比べても大変お得な価格設定となっています。どうぞご利用下さい。



今年度大変ご好評いただきました胃カメラでの麻酔は、来年度も無料で実施させていただきます。

この麻酔は注射で入れるお薬ですが、入れると直ぐに効果を発揮し、寝ている間に胃カメラは終わってしまうというものです。麻酔を使うことで、これまで観察のしにくかった喉から食道の入り口の観察も十分でき、カメラが通るときの違和感や苦しさもありません。苦しくない胃カメラをどうぞお試しください。皆様のご利用をお待ちしております！

耳マークについて

当院では平成25年12月より耳マークの使用を始めました。

耳マークとは、一般社団法人全日本難聴者中途失聴者団体連合会が作ったマークで、マークを表示することで、「耳が聞こえない」、「聞こえにくい」ということを周りの方に気づいてもらえるようにするためのものです。

耳の不自由な方、聞こえにくい方が安心して治療を受けられるよう、当院でも耳マークを表示することにしました。耳マークの表示を希望される方は、1番総合案内または近くの診療科窓口にお申し出ください。

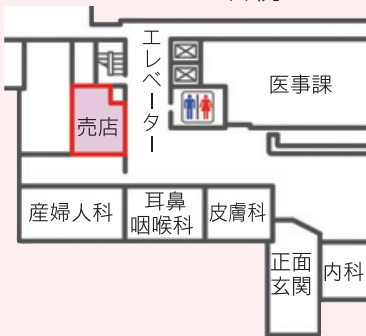


耐震改修工事に伴う売店リニューアルオープン

耐震改修工事により2階で仮設営業していた売店ですが、平成26年2月より1階フロア西側に戻り営業を開始しました。リニューアルによって店舗は以前より広がっています。

新しい売店は「Green Leaves mall」(グリーン・リーフス・モール)という名称で、土・日・祝日も営業し、公共料金の支払いもできるようになりましたので皆さんご利用ください。

■営業時間 平日 8:00～19:00
土日祝 8:00～16:00



紙おむつ等の治療材料費の代金支払い場所の変更について

これまで、治療材料費は「5番会計窓口」でお支払いいただきましたが、院内売店の運業者の変更に伴い、2月からは支払い場所が変更となりますのでお知らせします。

■お支払い場所と時間 平日 8:00～19:00…1階売店、19:00～翌朝8:00…夜間受付窓口
土日祝 8:00～16:00…1階売店、16:00～翌朝8:00…夜間受付窓口

■問い合わせ先 医事課入院係 TEL 22-0415 (内線2012、2013)

再就職支援セミナーの開催

大町病院では再就職支援研修会を開催します。

この研修会は、しばらく現場を離れておられた看護師さんに専門職としての貴重な人材であることを認識していただき、もう一度看護の現場に戻っていただくための準備をするものです。開催時期は5月と10月を予定していますが、詳細は現在調整中です。決定次第お知らせします。

そろそろ復帰を考えている看護師さん、診療所等にお勤めでなかなか研修の機会がないという方、どなたでもお気軽にご参加ください。



第28回地域医療連携談話会

平成26年1月24日（金）に地域の先生をお招きして、第28回地域医療連携談話会を開催しました。「総合診療、大北地区におけるその意義と展望」と題し、信州大学医学部附属病院総合診療科特任教授の関口健二先生をお迎えしご講演いただきました。



第28回地域医療連携談話会

平成25年12月16日（月）に第41回カモシカ学習会を開催しました。カモシカ学習会とは職員の意識改革と資質向上を目的に全職員対象に行っている学習会です。今回は大町病院を守る会の北村喜男会長、高橋博久事務局次長に「大町病院を守る会の取り組み」を発表していただきました。



北村会長

高橋次長



第28回地域医療連携談話会

平成25年12月17日（火）に院内クリスマス会を開催しました。

午前は、サンタクロースからのプレゼント。院内保育所の子ども達と入院患者さん達にプレゼントを渡しました。



午後は院内クリスマスコンサートで、市内で活動されている「コール和リンガーズ」の皆さんによるハンドベルと合唱の演奏会を楽しみました。素敵な歌声と音色のプレゼントに大勢の患者さん達が聞き入っていました。



古布収集のお礼とお願い

峰村育美様よりシーツをたくさん届けていただきました。ありがとうございます。ありがたく使わせていただきます。大町病院では常時布切りボランティアの活動がありますので、不要な布がありましたらお譲りください。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

■譲っていただきたい布 タオル・綿の布

■問い合わせ 看護部長室

みなさまの **声**

市立大町総合病院では、患者サービス向上のための取り組みとして、患者さまやお見舞いなどでご来院された方から病院に関するご意見、ご要望を頂戴するために、ご意見箱「皆さまの声」を設置しております。

皆さまから寄せられたご意見の一部とそれに対する当院からの回答を紹介いたします。

Q 病院側かられんげ薬局へ行く入口を作ってほしい。

A 直接、れんげ薬局へ行くことができる出入口が欲しいとの要望はごもっともなことと思います。以前は、患者さんの利便性を考慮して、病院進入路からの出入口が設けられていました。

しかし、厚生労働省では「特定の保険薬局への誘導を禁止する」という規則が定められており、数年前にれんげ薬局に対して「公道を通らずに病院と薬局の出入りができることは、特定の薬局に対して便宜を与えることになり不適切である。」という内容の指導が行われました。この指導を受けて、国道から病院への進入路は大町病院の敷地であるため、れんげ薬局は出入口を閉鎖させざるを得ない状況となりました。

どうか事情をご理解いただきご協力の程お願い申し上げます。

Q もう少し早く診断書ができあがるように改善してほしい。

A この度はご不便をおかけしまして申し訳ありません。

診断書につきましては、診療の内容等により順番が前後することもございますが、ご依頼を受けた日から2週間以内を目途にお渡しできるよう対応してまいりますので、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

Q 外来で予約があったにもかかわらず急患が入ったとのことで長時間待たされた。急患の対応に関して不満はないが、待ち時間が長くなることについて説明がなかった。改善を願う。

A この度は待ち時間が長時間に及んだこと、また、そのご案内の不備がありましたことにつきましてお詫び申し上げます。

外来での待ち時間をできる限り短くするよう予約の取り方等を含め、最大限努力するように各科で調整をしておりますが、現状の医師数では診療できる患者数に限界があること、急患、重症者等により診療時間が左右されることがあり、当日であっても診療時間の予想ができかねる状況であることをご理解願いたいと存じます。

また、待ち時間が長くなる場合は、各科で、待ち時間のご案内をホワイトボードで掲示するようにしておりますとともに、一人ひとりにお声がけをさせていただくようにしております。

ご指摘いただきました待ち時間の配慮につきまして、再度各科に周知徹底いたしますので、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。

Q 放射線受付がわかりづらい。放射線受付にCT・MRI受付のプレートを付けてほしい。

A 壁面に放射線室・CT・MRI受付の案内を設置しました。



登録医の紹介

登録医とは、患者様に対して一貫性のある医療を提供できるように協力体制をとっていただける地域の先生方です。

狩谷整形外科医院

狩谷 勝 医師

大町で開業された経緯は？

茨城県出身です。中学校は東京、大学は信州大学で過ごしました。信州大学に整形外科ができた年からだったので、整形外科医はあちこちを網羅するというのが使命でした。今より整形医が少なかったのが大学院生も派遣され、あちこちを掛け持ちする時代でした。私は大学と北信の病院を2時間30分かけて行き来する生活をしていましたよ。今では信じられないでしょ(笑)。それから昭和46年から大町病院に勤めて、50年に開業し、今年で39年目になります。昔は安曇病院も診療体制が十分でなく、大町病院も鎌倉先生が着任されるまでは空白の時代がありました。その頃、当時の浦田先生から依頼され、開業してからもしばらくの間、大町病院で診療をしていた

んですよ。

診療で大切にされていることは？

理念とかはないですが、ただただ昼夜関係なく一生懸命やっていただけです。オリンピックの時代は外傷患者が今よりはるかに多く、夜は眠ることもできませんでした。平成8年に新築し病床を設置し、手術もしていたんですが、平成17年に看護師不足等から入院施設は閉鎖しました。ヘリコプターや救急車で搬送される患者も受入れ、整形外科領域を超えて救急や脳神経外科領域まで、まるで野戦病院のような診療を経験しました。

当時と今の時代の変化は？

昔は、患者への最大限の努力が感謝に繋がったから、いつ何時でも外傷患者を受け入れていました。今は整形外科でも特化した専門性を求める社会になっていて、時代が変わったと感じています。でも、整形外科も専門領域細分化されているので、特化し過ぎると他院への紹介が必要になるんです。今後は、大町病院に着任される総合診療医のような専門の狭間を担う医師が出てくるかもしれませぬ。

高齢社会の骨粗鬆症について

整形外科医としては、栄養や老健施設の入所者の活動量を増やす取り組みがあれば良いと日頃から思っています。患者の安全確保も



必要だけど、車椅子に座らせるだけでなく、ご本人の力を伸ばすようなこと。対象になるような人は大いにいると感じています。施設ケアの目的の一つではないでしょうか。

地域の医療と福祉に期待すること

病診連携はあるけど、病診・施設連携がないですよ。そういう意味で、新潟県では、骨粗鬆症に対してリエゾンサービスというものがあると聞いています。これは様々な職種が連絡を取り合って患者を継続して支援していく。長野県内はそういった制度がないので、大町市でも多職種の人たちの連携を目的に話し合っていくということがあると良いと思います。それぞれの立場により、考え方も違いますが、互いを知ることによって変わる事があると思います。是非、そういう取り組みを進めて欲しいですね。

狩谷整形外科医院

所在地／大町市大町3830-6

電話／0261-22-7788

診療科目／整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科

休診日／日曜日、祝日

診療時間／月～金 ・ 8：30～12：30

・ 14：00～17：30

土曜日 ・ 8：30～12：00



外来診療表

■診察時間 9:00 から ※診療科によって異なる場合があります。

■休診日 日曜・祝日・土曜日(第1・第3・第5)

※医師が変更する場合がございますので、最新の診療表については病院にお問い合わせください。

■ 総合診療 受付時間 8:00~16:30 (月・木曜日は 15:00 まで)

平成 26 年 3 月 1 日

| 診療室(診療時間) | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------|--------------|--------------|-------|--------------|------|---|
| 内科 | 中澤勇一(~16:00) | 関口健二(~12:00) | — | 中澤勇一(~16:00) | — | — |
| 外科(14:00~) | — | 平賀 理佐子 | 飯沼 伸佳 | — | 高木 哲 | — |

■ 一般外来 受付時間 8:00~11:30 (土曜日は 10:30 まで) ※青文字は信州大学からの派遣医師です。

| 科名 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | |
|---------------------------|---------------------------|---------------|----------------------|---|------------------------------|--------------------|-------------------------|------------|
| 内科 ※午後は予約のみ | 1診 | 午前 | 新津 義文 (腎臓・血液・肝臓病) | 吉田 園代 (神経内科) | 新津 義文 (腎臓・血液・肝臓病) | 吉田 園代 (神経内科) | 北原 修 (腎臓・糖尿病) | 漆畑 一寿(呼吸器) |
| | | 午後 | — | — | — | — | — | — |
| | 2診 | 午前 | — | 北原 修 (腎臓・糖尿病) | — | — | 林田 美江 (呼吸器) | — |
| | | 午後 | — | — | — | — | — | — |
| | 3診 | 午前 | 小林 孝至(呼吸器) | 林田 美江 (呼吸器) | 池川香代子(呼吸器) | 立石一成/生山裕一 (呼吸器) | — | — |
| | | 午後 | 担当医 | — | — | — | — | — |
| | 4診 | 午前 | 総合診療 | 総合診療 | — | 総合診療 | — | — |
| | | 午後 | — | 武井真大 (糖尿病・内分泌) 第2・4週【予約制】 | 担当医 | — | 担当医 | — |
| | 5診 | 午前 | — | 町田 圭介(循環器) | 小塚 綾子(循環器) | 中村 千枝(循環器) | 田畑 裕章(循環器) | — |
| | | 午後 | 柴 祐司(循環器) | — | — | — | — | — |
| 禁煙外来【予約制】 [受付]14:30 まで | | — | — | — | 林田 美江 [診察]13:00~15:00 | — | — | |
| 小児科 | 午前 | 南 勇樹 | 大倉 絵梨 | 南 勇樹 | 遠藤 優子 | 小林 法元 | 大嶽 富夫(第2週) 信州大学(第4週) | |
| | 午後【予約制】 | 予防接種 | 乳児健診 | 慢性疾患外来 | 予防接種 | — | — | |
| 外科 | 一般外来 | 高木 哲 | 平賀 理佐子 | 高木 哲 | 平賀 理佐子 | 飯沼 伸佳 | 信州大学 | |
| | 乳腺外来【予約制】 [受付]10:00 まで | 平賀 理佐子 | 飯沼 伸佳 | 飯沼 伸佳 | — | 高木 哲 | — | |
| | 心臓・血管外来 [受付]16:00 まで | — | — | 小池 綾男 (第1・3) | — | 小池 綾男 | — | |
| | 甲状腺外来 | — | — | — | 宮川 信(第2・4) [診察]9:00~14:00 | — | — | |
| 整形外科 | | 下川 寛一 伊藤 仁 | 鎌倉 貞夫 | 伊藤 仁 | 鎌倉 貞夫 | 向山 啓二郎 | 信州大学 | |
| 産婦人科 ※午後は予約のみ | 午前 | 深松 義人 | 斉藤 慶弘 | 大平 哲史 | 深松 義人 | 斉藤 慶弘 | 信州大学 | |
| | 午後 | — | — | — | — | — | — | |
| 皮膚科 | | 松本 祥代 | 松本 祥代 | 松本 祥代 | 佐野 佑 | 松本 祥代 | 松本 祥代 | |
| | | — | — | 子供/専門外来 [診察]14:30~ (受付は 15:00 まで) | — | — | — | |
| 泌尿器科 | | 井上 善博 | 柳沢 温 | 野口 涉 | 井上 善博 | 野口 涉 | 井上善博(第2週) 野口 涉(第4週) | |
| 脳神経外科 | | — | — | — | 伊東 清志 | — | — | |
| 眼科【予約制】 | | 平野 隆雄 | — | 千葉 大 | — | 黒川 徹 | 山本裕香/平野隆雄 | |
| 耳鼻咽喉科 [水曜受付]15:30 まで | | — | — | 信州大学 [診察]14:00~ | — | — | 小林 正史 | |
| 形成外科 [受付]16:00 まで | | — | 伴 碧 [診察]14:00~ | — | — | — | — | |

■眼科外来・乳腺外来は予約制となっております。詳しくは各外来までお問い合わせください。

■内科「担当医」は、予約患者のみ診療となります。

■診察券(プラスチックカード)は全科共通です。保険証と共に忘れずにお持ちください。


■再来受付機は、保険証を3ヶ月以上提示いただかないと利用できなくなります。(1番総合窓口にお越しください)

理念

私たちは、温かい質の高い医療を実践します。

基本方針

1. 医学的根拠に基づく安心・安全の医療を提供します。
2. 患者主体で、地域に密着した医療を提供します。
3. 診療技術の向上と思いやりのある職員の育成に努めます。
4. 健全で働きがいのある病院運営を行います。

 市立大町総合病院 広報誌 きらり大町病院

■発行 市立大町総合病院

■編集 市立大町総合病院 広報委員会

〒398-0002 長野県大町市大町 3130 番地

TEL 0261-22-0415 (代) URL <http://www.omachi-hospital.jp/>

e-mail hospital@city.omachi.nagano.jp